

日立の「ハマボウフウ」について

ハマボウフウは、かつては日本全国の海岸に自生していましたが、乱獲や砂浜の減少等で余り見られなくなったせり科の植物です。この作物を日立市の特産品にしようと、有志が集まり「日立市ハマボウフウ特産化研究会」を結成しました。3年間の試行錯誤の後、栽培に成功しました。ハマボウフウには、独特の風味・香り、食感があり、おひたし、酢味噌和え、天ぷら、吸い物、サラダ、刺身のつまなど、多様な使い道があります。

